

# 入選作品紹介

信州なかのバラまつりに合わせて行った写真コンテスト。応募総数 106 作品。バラに魅力を感じた方々のたくさんの応募がありました。

プロカメラマンの大井川茂兵衛さんを含めた 5 人の審査員が厳選した受賞作品を、受賞者のコメントと審査員の講評と併せて、ご紹介します。



## 親子とバラ部門 楽しいお散歩

小林誠さん（野沢温泉村）

写真を撮りに、今年は 3 回バラまつりを訪れました。人物はあまり撮ったことがないですが、挑戦してみました。写真は、親子 3 代で歩いているところを撮らせていただいたものです。モデルの方たちともお話をしながら、和やかに撮影を楽しみました。

**講評** バラの額縁に家族を配した安定した構図。アーチと陰が円となり、たずむ家族が引き立っている。何気ない散歩道が幸福感に満ちていく。

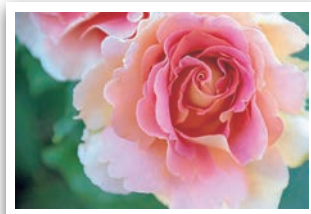


## フェイスブック部門 赤いドレス

井上信男さん（長野市）

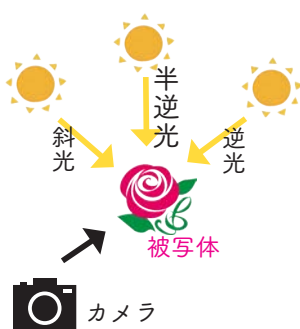
初めて一本木公園に行きました。朝方に写真を撮りながら園内を歩いていると、朝露または雨粒の残りなのか、赤いバラに雫を見つけました。望遠レンズにクローズアップレンズを付けて撮影しています。

**講評** 「赤いドレス」の画題が示すとおり、赤一色のグラデーションでバラの妖艶さまで感じさせる美しい作品に仕上がっている。2 点の最終投票が行われたが、次点になった作品も淡いグラデーションがとても美しい。輝く雫が審査員の心を引き込んだかと思う。



▲ 次点作品「時の彩り」

### ポイント② 半逆光



**市村** ここはバラのカーテンが見事です。また、珍しいバラの品種が多いので、探してみてください。

**大井川** 私は、逆光と斜光の間を「半逆光」と呼んでいます。太陽の位置を半逆光にすると立体的で美しく撮ることができます。

### ポイント③ モデルさんのように撮る

**市村** この区画は、「メイズガーデン」といいます。花の形が丸く、芳香が特徴の「イングリッシュローズ」と呼ばれるバラが多いです。ぜひ、香りにも注目してみてください。

**大井川** バラもモデルさんのように、容姿端麗に撮りたいですね。バラから少し離れ、ズームをして撮影すると、歪みが少なく、細くシュッと撮れます。



バラのおすすめ  
撮影ポイント  
スマホ、デジカメでも大丈夫!!



講習会に参加された皆さん

2017年6月3日、園内のバラや花壇の特徴の解説付きで、プロカメラマンの撮影技術を学べる講習会が開催されました。ここでは、この講習会でも紹介されたポイントを振り返ります。

一本木公園



※○ バラのおすすめ撮影ポイント  
※○ 入選作品撮影場所



公園・バラの案内  
市村 恒雄さん  
(一本木公園バラの会)



講師  
大井川 茂兵衛さん

ポイント①  
「前ボケ」写真

**市村** この区画の花壇は、バラの花が人の目線の高さになるように設計されています。さらに、一本の花枝の先にくつつも花を咲かせる「中輪房咲き種」が多いので、バラに囲まれたような雰囲気ですね。



**大井川** 焦点（ピント）を後ろの少女像に合わせて、あえて前をぼかします。このような「前ボケ」を使うと心象的（心の中に描き出されたもの）な写真になりますよ。



① 広報なかの表紙部門  
バラのお誘い 田中善大さん（中野市）

普段からスナップ写真をよく撮っていて、人を撮ることが多いです。幼稚園児のにぎやかな声に誘われて、シャッターを切りました。

**講評** バラそのものの美しさを狙う作品が多い中、園児とバラの題材を求め、一瞬にして通り過ぎてしまう瞬間をこの構図で切り取った作者の感性を評価したい。2点の最終投票で惜しくも次点になった作品は「静」に対し、入選作品は「動」。子どもの後ろ姿にうれしい将来の物語を感じ、「広報なかの」表紙へ。



◀ 次点作品「バラの窓から」